

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
I-1-(1)-⑥ 地域など行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	①	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	20 公園	16 公園	16 公園	—	継続	26,000	85,100	増額	6,825	順調	引き続き、公園利用の活性化に結びつく本事業による公園整備を推進する。	順調	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。	
I-3-(1)-② 教育関係施設との連携による人材育成	2	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標			
II-1-(4)-④ 総合的な災害 対策の 推進	3	⑪	河川改修事業 の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	河川毎に計画している降雨(1時間で50~70mm程度)に対応できる状態(R15年度)	継続	2,449,700	2,428,800	維持	78,250	順調	市内河川の治水能力向上を図るため、計画的な治水整備事業を推進する。		
	4	⑪	巨過地区まち づくりに伴う 河川整備事業	神嶽川巨過地区整備室	長年市民に親しまれている巨過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった巨過地区の再整備を推進する。	神嶽川（巨過地区）の治水安全度向上	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	巨過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態(R13年度)	拡大	285,000	436,000	増額	117,800	順調	巨過地区土地区画整理事業に必要な実施設計等に着手する。	順調	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
	5	⑪	豪雨災害から 市民を守る緊 急対策事業	水環境課	普通河川等の流下能力向上のための改修事業、護岸の長寿命化を行い、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	浸水被害の低減	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	H30年豪雨で被災した河川の浸水対策が完了している状態(R5年度)	継続	770,000	506,000	減額	21,300	順調	普通河川等の改修、護岸の長寿命化事業を推進する。		
II-2-(3)-④ 個人の健康 づくりを 支える環境 の整備	6	③ ⑪	健康づくりを 支援する公園 等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	累計 24公園 (R1年度)	目標 1 公園	実績 1 公園	達成率 100.0 %	1 公園	1 公園	2 公園	累計 30公園 (R5年度)	継続	10,000	23,000	増額	3,650	順調	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。	順調	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標		
Ⅲ-1-(1)-③ まち美化活動の拡充	7	⑪	ボランティアネットワークの推進（道路サポーター）	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数	—	目標 230 団体	実績 233 団体	達成率 101.3 %	235 団体	240 団体	250団体 (R5年度)	継続	17,071	17,071	維持	9,400	順調	ホームページの改良やPR動画の作成など、広報に力を入れることで、より一層の団体数増加に努める。		
	8	⑪	ボランティアネットワークの推進（公園愛護会）	公園管理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	—	目標 1,160 団体	実績 1,184 団体	達成率 102.1 %	1,160 団体	1,160 団体	1,160団体 (毎年度)	継続	45,730	45,730	維持	18,135	順調	公園愛護会が活動しやすい仕組みづくりに継続して取り組み、団体数の維持・増加に努める。	順調	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
	9	⑪	ボランティアネットワークの推進（河川愛護団体）	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標 73 団体	実績 69 団体	達成率 94.5 %	73 団体	73 団体	73団体 (R3年度)	継続	2,400	2,634	増額	440	順調	引き続き、多くの市民に河川に関心を持ってもらえるよう、河川愛護団体の活動を推進する。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																		
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										
III-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	⑪	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 619 団体	実績 566 団体	達成率 91.4 %	628 団体 (R3年度)	継続	56,550	57,090	維持	23,150	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。
	11	⑪	地域に役立つ公園づくり事業	みどり公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園	実績 12 公園	達成率 60.0 %	—	継続	26,000	85,100	増額	6,825	順調	引き続き、公園利用の活性化に結びつく本事業による公園整備を推進する。	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。
III-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	12	⑪	バリアフリーのまちづくり	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	—	目標 95 %	実績 93 %	達成率 97.9 %	100% (R7年度)	継続	609,000	357,100	減額	26,150	順調	本市における高齢化率は、全国平均を大きく上回るとともに、他の政令指定都市の中で最も高く、高齢化が急速に進展している。このような状況のもとバリアフリー化の推進は必要不可欠であり、着実に取り組みを継続する。	順調	今後も子どもから高齢者まで誰もが安全で快適に通行できる身近な道路として環境の整備を推進する。
	13	⑪	通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	—	目標 —	実績 96 箇所	達成率 —	—	継続	935,100	676,800	減額	26,150	順調	児童の安全・安心な通学路環境の整備は、交通安全事業において最も重要な施策であり、引き続き、対策に取り組んでいく。	順調	児童の安全・安心な通学路環境の整備は、交通安全事業において最も重要な施策であり、引き続き、対策に取り組んでいく。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
V-1-(2)-① 都心の にぎわ づくり	14	⑪	小倉駅・黒崎 駅前の賑わい づくりの推進	道路 計画 課	北九州市の玄関 口となる小倉都心 部と黒崎副都心部 の駅前において、 魅力的な都市環境 の創造につながる 道路環境整備を行 い、まちの賑わい を推進する。	歩いてみたくな る歩行空間を創 出	—	—	—	—	歩いて みたくな る歩行 空間の 創出	継続	187,000	520,000	増額	61,500	順調	引き続き計画的に道路環境 整備を進める。 R2年度は設計を実施し、R3 年度より工事着手のため予算 増額となった。	順調	引き続き計画的に道路環境 整備を進める。 R2年度は設計を実施し、R3 年度より工事着手のため予算 増額となった。
	15	⑪	旦過地区まち づくりに伴う 河川整備事業	神嶽 川旦 過地 区整 備室	長年市民に親し まれている旦過市 場の魅力向上と、 市場に隣接する神 嶽川の治水安全度 の向上のため、河 川事業と一体とな った旦過地区の再 整備を推進する。	神嶽川（旦過地 区）の治水安全 度向上	—	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	旦過地 区にお いて概 ね50年 に一度 発生す る降雨 にも対 応でき る状態 (R13年 度)	拡大	285,000	436,000	増額	117,800	順調	旦過地区土地区画整理事業 に必要な実施設計等に着手す る。	順調	今後とも都心の賑わいづく りに資する事業を計画的に進 める。
	16	⑪	都市再生整備 計画（道路改 築）	道路 計画 課	道路拡幅工事を 行うことで、慢性 的な交通混雑の解 消及び歩行者の安 全な通行を確保し 、都心へのアクセ ス向上を図る。	交通混雑の解消 及び歩行者通行 の安全確保	—	—	—	—	交通混 雑の解 消及び 歩行者 通行の 安全確 保	継続	15,000	302,000	増額	15,375	順調	引き続き計画的に道路の整 備を進める。 R2年度は設計を実施し、R3 年度より工事着手のため予算 増額となった。	順調	引き続き計画的に道路の整 備を進める。 R2年度は設計を実施し、R3 年度より工事着手のため予算 増額となった。
V-2-(2)-① 広域物 流ネッ トワー クの強 化	17	⑪	自動車専用道 路ネットワー クの整備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄 道ターミナルなど 、拠点間を結ぶ交 通・物流ネットワ ークの構築や地域 間の連携・交流促 進を図るため、環 状放射型自動車 専用道路ネットワ ークの整備を推 進する。	朝ピーク時の響 灘地区～東田地 区間の所要時間	43分 (H21年 度)	—	—	—	13分 (R9年 度)	継続	2,988,333	1,723,333	減額	69,000	順調	引き続き計画的に主要道路 の整備を進める。	順調	今後も広域・物流ネット ワーク強化のため、道路整備 を計画的に進める。
	18	⑪	主要な道路の 整備（恒見朽 網線など）	道路 計画 課	主要な街路・道 路事業を重点的か つ速やかに整備す ることで、市内の 渋滞対策、物流 ネットワークの強 化、地域間の連 携・交流促進を図 る。	新門司地区～北 九州空港間の所 要時間	36分 (H21年 度)	—	—	—	28分 (R7年 度)	継続	6,278,167	4,005,480	減額	217,250	順調	引き続き、計画的に主要な 道路整備を進める。	順調	引き続き、計画的に主要な 道路整備を進める。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
V-2- (2)-② 市民の 交通利 便性の 向上と 産業活 動の支 援	19	⑪	自動車専用道 路ネットワ ークの整備	道路計 画課	港湾・空港・鉄 道ターミナルな ど、拠点間を結ぶ 交通・物流ネット ワークの構築や地 域間の連携・交流 促進を図るため、 環状放射型自動車 専用道路ネット ワークの整備を推 進する。	朝ピーク時の響 灘地区～東田地 区間の所要時間	43分 (H21年 度)	目標 —	—	—	13分 (R9年 度)	継続	2,988,333	1,723,333	減額	69,000	順調	引き続き計画的に主要道路 の整備を進める。	順調	今後も市民の交通利便性と 産業活動の支援のための道路 整備を計画的に進める。
	20	⑪	主要な道路の 整備（恒見朽 網線など）	道路計 画課	主要な街路・道 路事業を重点的かつ 速やかに整備する ことで、市内の 渋滞対策、物流 ネットワークの強 化、地域間の連 携・交流促進を図 る。	新門司地区～北 九州空港間の所 要時間	36分 (H21年 度)	目標 —	—	—	28分 (R7年 度)	継続	6,278,167	4,005,480	減額	217,250	順調	引き続き、計画的に主要な 道路整備を進める。	順調	
V-3- (1)-② 都市基 盤・施 設の適 正な維 持管理	21	⑪	橋梁・トン ネル・モノレ ール等の長寿 命化への計 画的な取 組み	道路維 持課	市内には、約 2,000の橋梁と39本 のトンネル、総延 長約9kmのモノレ ールがあり、高齢 化・老朽化が進行 していることから、 予防保全の観 点での長寿命化事 業に取り組んで いる。 事業の実施にあ たっては、施設毎 に個別施設計画を 策定し、5年に1回 の定期点検に基づ く計画的な維持管 理を実施すること で、市民の安全・ 安心を確保すると ともに、トータル コストの縮減や予 算の平準化を図 る。 ・「北九州市橋梁 長寿命化修繕計 画」(H22.3策定、 H29.3改定) ・「北九州市ト ンネル長寿命化修 繕計画」(H25.2策 定、H29.3改定) ・「北九州モノ レール長寿命化計 画」(H23.6策定)	主要橋梁及びト ンネルの健全性 向上による市民 の安全・安心の 確保	—	目標 —	—	—	全主要 橋梁及 びトン ネルの 健全性 Ⅱ以上 (R5年 度)	継続	2,824,600	2,048,100	減額	157,525	順調	引続き、計画的な劣化対策 や耐震対策を実施すること により、長寿命化を推進する。	順調	今後も引き続き計画に従っ て長寿命化を推進するとと もに、安全な道路環境を確保 する。
						インフラ構造物 の長寿命化を実 施することで、 モノレールの安 全・安心な運 行を確保	—	目標 —	—	—	完了 (R3年 度)	実績 —	—	—	—	—	—	—	—	—

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度									
	22	⑪	若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	道路維持課	若戸大橋と若戸トンネルは、若松区と戸畑区とを結ぶ本市の重要な路線である。日常の道路巡回や、有事発生時の緊急対応など適切な維持管理を実施することで、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。	若戸大橋と若戸トンネルの適切な維持管理による、市民の安全・安心の確保	—	目標	—	—	—	安全な道路環境の確保(毎年度)	継続	100,000	100,000	維持	22,000	順調	適切な維持管理を実施することにより、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。
								実績	—										
	23	⑪	若戸大橋・若戸トンネル長寿命化事業	道路維持課	若戸大橋は吊橋構造、若戸トンネルは沈埋トンネル構造といった複雑な構造を有している。このような構造物に対し、予防保全型の維持管理を実施し、維持管理費のトータルコストの削減と予算の平準化を図るため、長寿命化修繕計画を策定するとともに、長期的視点に立った事業を推進する。	維持管理費のトータルコストの削減や予算の平準化および予防保全型の維持管理 ※中期目標改訂	—	目標	—	—	—	健全性Ⅱ以上(R5年度)	継続	250,000	250,000	維持	22,000	順調	長期的な修繕計画の視点に立った事業を推進する。 【中期目標の変更内容】 目標年度到達のため見直したものの。
								実績	—										
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	24	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人(毎年度)	継続	2,750	2,750	維持	1,120	順調	今後も継続して農業体験教室を実施する。
実績	1,944 人			達成率	97.2 %														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	25	⑪	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標	619 団体	628 団体	628 団体	628団体 (R3年度)	継続	56,550	57,090	維持	23,150	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。	順調	今後も継続して市民との協働や街かどの整備など、総合的な緑化を推進する。
						実績	566 団体														
						達成率	91.4 %														
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	26	⑪	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標	619 団体	628 団体	628 団体	628団体 (R3年度)	継続	56,550	57,090	維持	23,150	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。	順調	今後も継続して、公共の花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。
						実績	566 団体														
						達成率	91.4 %														
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	27	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	継続	2,750	2,750	維持	1,120	順調	今後も継続して農業体験教室を実施する。	順調	今後も沿線自治体と連携・協力して要望活動に取り組む。
						実績	1,944 人														
						達成率	97.2 %														
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	28	⑪	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】東九州自動車道の建設促進	—	目標	—	—	—	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	—	—	—	順調	今後も沿線自治体と連携・協力して要望活動に取り組む。
						実績	—														
						達成率	—														